

# <完全自家消費型太陽光発電システム用> KPW-A55-2PJ4（一般タイプ） / KPW-A55-2J4（一般タイプ） / KPW-A55-2SPJ4（重塩害対応タイプ） / KPW-A55-2SJ4（重塩害対応タイプ）

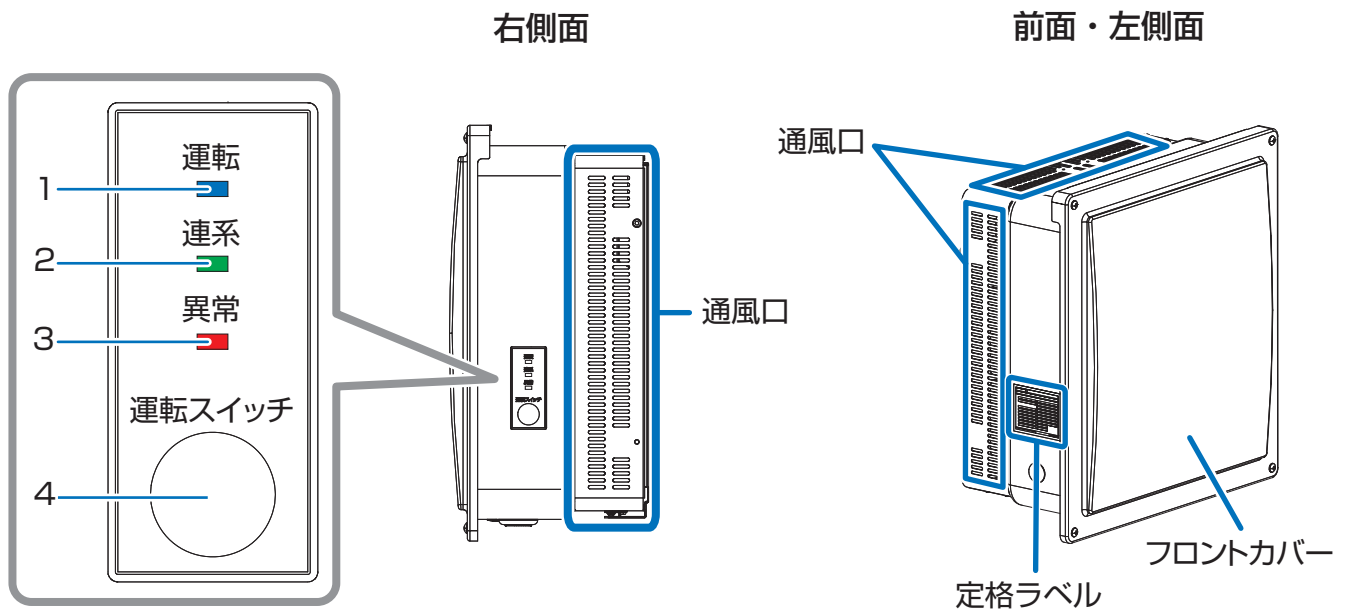
## 停電時の使い方（自立運転モードの使い方）

本紙は停電時のパワーコンディショナの機能および使用方法を説明しています。安全にお使いいただくために、本紙とあわせて、取扱説明書に記載されている「安全上のご注意」を必ずお読みください。

自立運転は、非常時の運転モードです。停電などで電力会社からの電力供給が停止したときに、自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセントから使用することができます。自立運転時は、電力会社に売電されず、停電用コンセントに接続した電気製品に太陽光により発電された電力を供給します。

この取扱説明書では、上記形式のパワーコンディショナを完全自家消費型太陽光発電システム以外（逆潮流あり太陽光発電システム）で使用する場合の機能および使用方法について解説します。

# 各部の名前と働き



## 1 運転ランプ (青)

連系運転中または自立運転中に点灯します。  
●パワーコンディショナの状態によって点滅します。

## 2 連系ランプ (緑)

連系運転中に点灯します。

## 3 異常ランプ (赤)

異常発生時に点灯または点滅します。

## 4 運転スイッチ

5秒以上長押しして、パワーコンディショナの運転開始と運転停止の切り替えを行います。



●夜間など太陽電池が発電していないときは、すべてのランプが消灯し、操作できません。

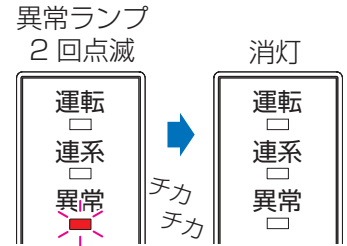
# 連系運転と自立運転について

## 停電時の使い方（自立運転への切り替え）

日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止したとき、システムを自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセントから使用することができます。

### 停電時に、異常ランプが5秒間に2回点滅を繰り返している場合

「連系運転と自立運転を手動で切り替える設定」※<sup>1</sup>になっています。  
自立運転で使用する場合は、下記の手順1～4を行ってください。



### 停電時に、運転ランプが点灯している場合

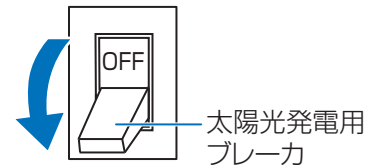
- 「連系運転と自立運転が自動で切り替わる設定」※<sup>1</sup>になっています。
- 自動的に自立運転に切り替わっています。
  - 自立運転時の発電電力は併設している蓄電システムに送られます。
  - 停電用コンセントは設置されていません。



※ 1. 設定は変更できません。

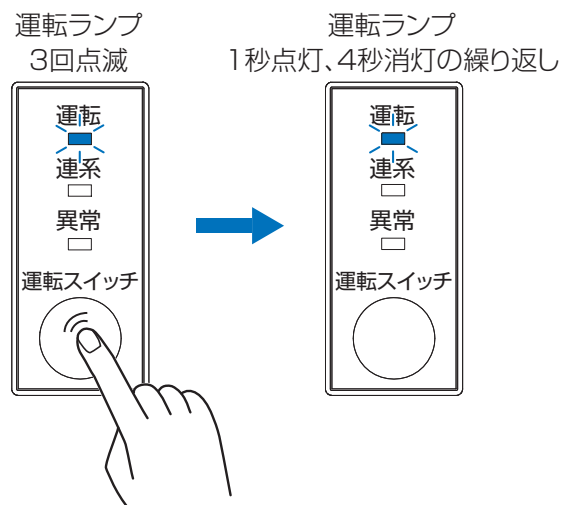
- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべてのランプが消灯し、自立運転への切り替えはできません。

## 1 太陽光発電用ブレーカを「オフ」にする



## 2 運転スイッチを5秒以上押し続ける

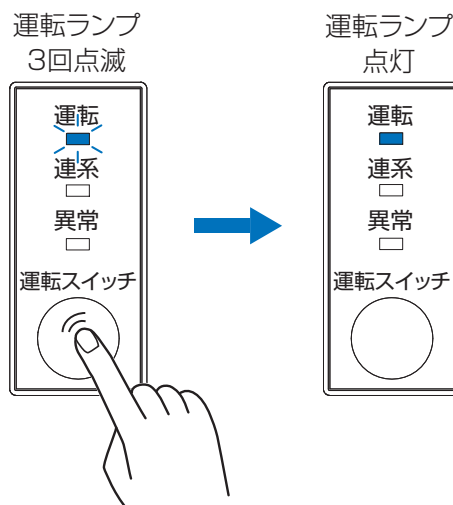
- 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- 運転ランプが1秒点灯、4秒消灯を繰り返します。



## 連系運転と自立運転について（つづき）

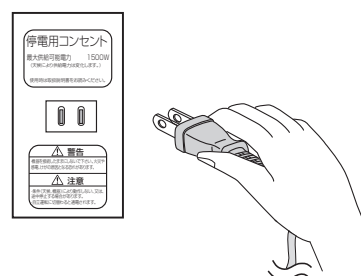
### 3 運転スイッチを 5 秒以上押し続ける

- 運転ランプが 3 回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。
- 自己診断のため、パワーコンディショナからカチッカチツカチッカチツと動作音がします。
- 自立運転を開始すると、運転ランプが点灯します。



### 4 停電用コンセントに使用したい機器を接続する

- 突然停止しても安全性に問題がない機器を接続してください。
- 接続する機器の合計消費電力は、1500VA 以下(AC100V で最大 15A 以下) になるようにしてください。



- 自立運転を停止させるには、運転スイッチを 5 秒以上押し続けて、運転スイッチを「オフ」状態にしてください。  
(⇒ 2) 再度、運転スイッチを 5 秒以上押し続けると、運転スイッチが「オン」状態になり、自立運転を再開します。

## 自立運転が停止したら

### ◆ 発電電力の低下や日の入りによって自立運転が停止した場合

パワーコンディショナは、天候の変化によって太陽電池の発電電力が低下したときや日の入り時に、自動的に自立運転を停止します。

#### 「連系運転と自立運転を手動で切り替える設定」(⇒ 3) になっている場合

太陽電池が発電を開始してから、下記手順を行って自立運転を再開させてください。  
(異常ランプが 5 秒間に 2 回点滅を繰り返していたら、太陽電池は発電を開始しています)

- ① 運転スイッチを 5 秒以上押し続ける (⇒ 2)
  - 運転ランプが 3 回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- ② 運転スイッチを 5 秒以上押し続ける (⇒ 2)
  - 運転ランプが 3 回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。

#### 「連系運転と自立運転が自動で切り替わる設定」(⇒ 3) になっている場合

太陽電池が発電を開始すると、自動的に自立運転が再開されます。

## 連系運転と自立運転について（つづき）

### ◆保護機能が働いて自立運転が停止した場合

掃除機や冷蔵庫などの電流が急激に流れる機器を使用したり、故障した機器を使用すると、保護機能が働いてパワーコンディショナが停止することがあります。

保護機能が働いて自立運転が停止した場合は、以下の手順で再開してください。

- ① 運転スイッチを5秒以上押し続ける（⇒2）
  - 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- ② 停電用コンセントに接続している機器を減らす、または故障した機器を停電用コンセントから外す
- ③ 運転スイッチを5秒以上押し続ける（⇒2）
  - 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。

- 
- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべてのランプが消灯し、自立運転を再開させることはできません。

連系運転と自立運転について（つづき）

復電時の操作（連系運転への切り替え）

「連系運転と自立運転を手動で切り替える設定」(⇒ 3) になっている場合

復電後は、手動で連系運転に切り替える必要があります。下記の手順 1～4 を行ってください。

- 夜間に復電した場合は、手順 2 のみを行ってください。翌朝、連系運転モードで運転を開始します。
- 連系運転に切り替える際、停電用コンセントに接続している機器は外してください。

「連系運転と自立運転が自動で切り替わる設定」(⇒ 3) になっている場合

復電後は、最大 5 分程度で自動的に連系運転に切り替わります。下記の手順 4 のみ行ってください。

- 下記の手順 4 で運転ランプと連系ランプが点灯せず、異常ランプがゆっくり点滅（2秒点灯、2秒消灯）を繰り返している場合は、下記手順 ①、② を行って連系運転を開始してください。

① 運転スイッチを 5 秒以上押し続ける (⇒ 2)

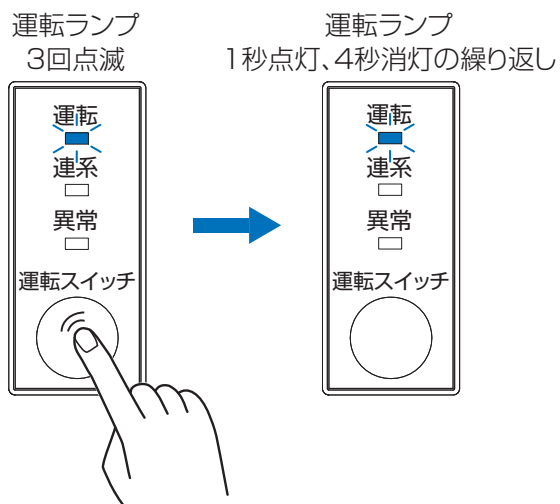
- 運転ランプが 3 回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。

② 運転スイッチを 5 秒以上押し続ける (⇒ 2)

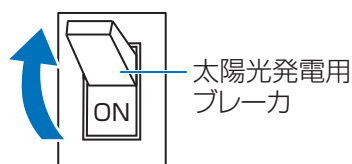
- 運転ランプが 3 回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。

1 運転スイッチを 5 秒以上押し続ける

- 運転ランプが 3 回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- 運転ランプが 1 秒点灯、4 秒消灯を繰り返します。
- 自立運転が停止します。

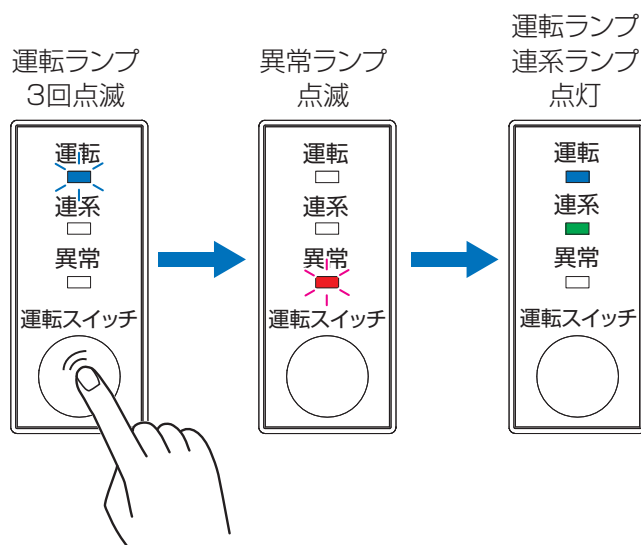


2 太陽光発電用ブレーカを「オン」にする



3 運転スイッチを 5 秒以上押し続ける

- 運転ランプが 3 回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。
- 連系運転を開始するまで、異常ランプが点滅します。



4 運転ランプと連系ランプが点灯し、連系運転が開始していることを確認する